

第六十四回フォト句優秀作品（28年7月11日）



妙案も猿知恵もなく

我悩む 松田 昌康

寸評：野生のサルを望遠で捕らえた写真はなかなかのものだが、句については、もう少し悩んで欲しいところ。



齢をとり水玉眼鏡が

情けなや 下山 健夫

寸評：睡蓮の葉に溜まった水滴を水玉眼鏡と表現した。句の内容がやや情けない。





将来は宇宙飛行士

ばかりなり 矢澤 正二

寸 評：病院のロビーでの七夕の飾りつけ。画像に迫力は感じないが、子供の夢を汲み上げる気持ちは大



お稲荷の大株主とは

露知らず 安藤 晃二

寸 評：伏見稲荷には無数の鳥居が並んでいるが、IT分野の大手会社の名前があった。京都まで行って、こんな写真を撮るのはフォト句メンバーしかいるまい。

## 付け句



今月は清水さんの出題。町おこしのサンバのパレードの開始直前の写真です。

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1) カーニバル待ってる阿呆に撮る阿呆 | 池田 隆   |
| 2) 布切れの面積人気と反比例     | 三春     |
| 3) 囃しても踊らぬ景気疲れ果て    | 下山 健夫  |
| 4) サンバとて脱いでは見たが梅雨寒し | 新田 由紀子 |

寸評：

- 1) 阿波踊りのお囃しの「踊る阿呆に見る阿呆」をもじったもの。決して撮影した出題者のことを皮肉ったものではありません。
- 2) 踊り子の纏う衣装（布切れ）は、小さければ小さいほど衆目を集めるとか。グラマーな踊り子が居ればの話ですが。
- 3) 全員待ちくたびれています。笛吹いても盛り上がらない「なんとかミクス」。停滞した景気を何とかして欲しいものです。
- 4) 町おこしの行事にと普段の衣装をかなぐり捨て、サンバの衣装を纏ってはみたが、パレードは手順が悪くなかなか始まらない。天候のせいかなトイレにも行きたいし。